

# 面会について

北4階病棟：発表者 山崎 章恵  
小島 由香・田中 雅子

## I はじめに

当病棟には様々な疾患の患者さんが入院しており、手術件数も多く、重症患者さんも多い。そういった状況の中で、時間外の面会、患者さんの状態を考えていないと思われる面会が非常に多い。又、面会について患者さんから苦痛の訴えが出ることもあり、その対応に苦慮していた。そこで今回、面会の実態調査を行ない、それをもとに、患者さんにとって負担がなく、面会者にもなるべく不快感を与えないような面会の対応を検討したので、ここに発表します。

## II 研究方法

1. 面会の実態調査と面会者の意識調査（資料1-(1), (2)）
2. 患者さんの面会に対する意識調査（資料1-(3)）
3. 看護婦の面会者への対応についてのアンケート
4. 面会制限について、患者へのアンケート（資料1-(4)）

### <アンケート調査に関する結果、考察>

資料1-(1)-④のグラフは、面会者1人あたりの面会時間をあらわしたものです。かなり長時間になっている場合もありますが、日中だけ付き添っている家族も含まれていることも影響していると思われます。

30分から2時間までの面会が非常に多く、術後の患者さんが短時間の面会を希望している点からみると30分以上の面会は問題と思われます。

資料1-(3)-3), 4), (4)-1), 3) ……看護婦は手術後の面会が患者さんにとって苦痛となっているのではないかと予想していましたが、結果は、大多数が苦痛はないと答えており、予想とは反していますが、苦痛であると答えた患者は重症者が多く、逆に苦痛がないと答えた患者は甲状腺や乳腺などの比較的離床の早い患者に多くみられました。

術後何日目だったら面会してもらってよいかという質問に対しては、5日目以降と答えている患者が多く、これは術後の苦しかった時期とほぼ一致しています。

術後の面会制限では、63%の患者が希望し、なるべく短時間にする様、看護婦から働きかけしてほしいという内容が多くみられました。

看護婦のアンケートは、面会者に対してどう対応しているか、これからどうしていったらよいか、についてアンケートを行ないました。多くの看護婦が患者から面会について苦情を受けており、改善が必要と感じています。時間外の面会については、ほとんどの看護婦が短時間にしたり、面会室を利用してもらうことを促していました。しかし子供の面会は、患者にとって慰安となっているのではないかと、黙認していたり、すでに病室にいる面会者には何も言えなかったりや消極的な対応をしていることがわかりました。

これらのアンケート結果を検討し、下記のパンフレットを作成しました。

- A) 入院予約時に渡すパンフレット
- B) 面会者へのパンフレット
- C) 看護婦の面会者への対応マニュアル
- D) 付き添い者へのパンフレット
- E) 入院案内

### Ⅲ 結果、考察

時間外の面会が全体の60%を占め、いかに時間外の面会が多いかを再認識させられました。時間外に面会した理由としては、①家が遠く交通の便が悪い、②仕事の都合、③家事の都合という順番でした。面会者の側からみると、面会の時間を知っていたにもかかわらず、時間外に面会しており、面会時間を守るというよりも自分の都合を優先させています。患者さんの側からみると、面会時間が守られないことよりも、自分の状態の悪いときや面会者の態度で不快になっています。これらのことより患者さん、面会者共に面会時間に対する意識が低いことがわかりました。

また、時間外の面会者の中には、面会に来たのだから時間外でも病室に入れてもらえるのは当然という態度の面会者もいるため、患者面会室の利用を促しても結局は病室で面会していることが多く、これに対し看護婦もすでに面会している面会者には何も言えず消極的になっていました。

一方、患者さんは面会者に気を使い疲れることも多い。特に術後等で、状態の不安定な患者さんは面会に対して、「うるさい」とか「疲れる」と感じていても自分の口からは言い出せないでいました。まして他の患者さんの面会者についてはなおさらです。

このような問題点から、私たちは患者さんの気持ちを理解し、積極的に面会者に働きかけていく必要性を感じ、面会者に対するパンフレットを作成し、面会簿のわきに自由に持ち帰り出来るように置きました。しかしパンフレットの持ち帰りが一週間で21枚と少なく、関心の薄さがうかがわれました。また、家族以外是一回のみでの面会が多いため、面会者の意識を高めるのは難しいと考えました。そこで私たちは「面会者への対応マニュアル」を作成し、細かなマナーに到るまで、その場で面会者に注意を呼びかけていくことにしました。

また、特に患者さんにとって苦痛が大きいと思われる、術後の面会に対しては、家族の協力を得るために「付添い者へのパンフレット」を作成しました。これは術直後の家族以外の面会者を少なくする、なるべく短時間にする、面会室を利用する等を促しています。これと同時に患者さん側にも「面会時間を守る」という意識を持ってもらうため、入院予約時に渡すパンフレットに面会時間を守るよう明記し、家族に対し面会簿への記入も促しています。また入院案内を見直し、患者さん自身にも、守ってもらいたいことを呼びかけています。

このように面会の対応を考えてきましたが、手術という大きな試練に対し、家族の支えが大切になるという点や、子供の面会が大きな慰安になっていることもあり、家族に対しては一概に制限できない面もあります。また、患者さんと面会者に不快感を与えないよう、言葉使いにも気を配らなければなりません。

面会は患者さんのその時々状態により様々な影響を与えるため、マニュアルを作ってもこれで全部対応できるとは思えません。しかし、私達はどんな場合でも患者さんの立場になり、肉体的、精神的苦痛のない、真の患者さんの慰安となる面会を考えていくべきだと思います。

#### IV おわりに

今回は「面会の対応マニュアル」を作成しましたが、面会に訪れる人は日々変わっており、早急に効果が現われるとは考えにくい。しかし、この対応マニュアルが、少しでも定着しよりよい面会と患者家族の意識の向上につながれば幸いと考えます。

なお、今回の研究にご協力いただいた患者さん、面会者の方々に、深く感謝いたします。

#### 参考文献

- 1) 伊藤よし子, 他: 外科病棟に於ける面会制限に関して <第5回日本看護学会集録, 教育管理分科会> 日本看護協会出版会, 1974, P64~65.
- 2) 宮脇 満子, 他: 時間外面会を考える <第6回日本看護学会集録, 管理分科会> 日本看護協会出版会, 1979, P 208~210.
- 3) 大久保美和子, 他: 面会を考える <第10回日本看護学会集録, 管理分科会> 日本看護協会出版会, 1979, P 357~359.
- 4) 倉内 節子, 他: 当院における面会の実態調査 <第13回日本看護学会集録, 管理分科会> 日本看護協会出版会, 1982, P 182~185.
- 5) 天笠 マリ, 他: 放射線科病棟における面会人の実態調査 <第7回関東甲信越地区看護研究学会集録> 日本看護協会, 1987, P 186~189.

#### 資料-1

##### (1) 面会者の実態調査

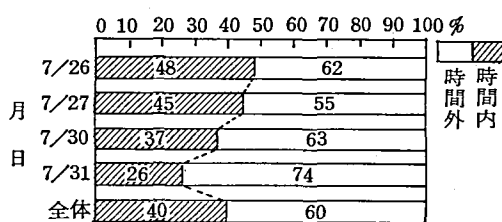
調査日: 昭和62年 7月26日(日)・27日(月)・30日(木)・31日(金)

##### ㉑ 一日の面会者数と入院患者数

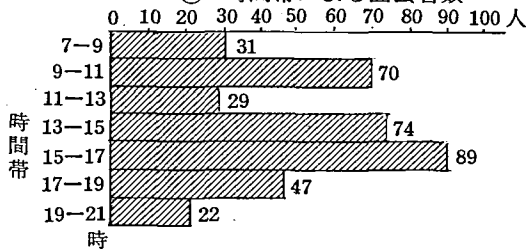
日	曜	入院患者	手術患者	重症者	面会者
26日	(日)	38	0	4	119
27日	(月)	37	2	4	65
30日	(木)	38	2	5	97
31日	(金)	39	0	5	82
合計		152	4	18	363

調査期間中の面会者は患者さん1人に対し、平均2.4人

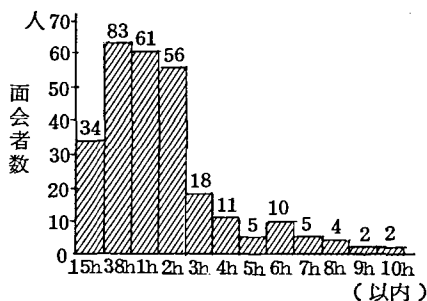
##### ㉒ 時間内面会者と時間外面会者の比率



##### ㉓ 時間帯による面会者数



##### ㉔ 面会者一人当たりの面会時間の長さ (帰った時間のわかった276人について)



(2) 面会者へのアンケート (総数 195人)

1) 患者さんの状態を予め知っていましたか？

- |          |      |
|----------|------|
| a 知っていた  | 177人 |
| b 知らなかった | 16人  |
| c 無回答    | 2人   |

2) 患者さんの状態を見て、今日面会に来て良かったと思いますか？

- |       |      |
|-------|------|
| a はい  | 182人 |
| b いいえ | 3人   |
| c 無回答 | 10人  |

(3) 面会について、患者さんへのアンケート (総数 27人)

1) 時間外の面会について

- |            |     |
|------------|-----|
| a 困ったことがある | 1人  |
| b 困ったことはない | 26人 |

2) どんな時の面会が困りましたか？

- |              |     |
|--------------|-----|
| a 検査・処置中     | 4人  |
| b 大勢の面会      | 5人  |
| c 具合が悪かった    | 2人  |
| d 床上排泄中      |     |
| e 大声で話す      |     |
| f 疲労を察してくれない |     |
| g 困ったことはない   | 13人 |

3) 手術後の面会を苦痛と感じたことがありますか？

- |       |     |
|-------|-----|
| a ある  | 4人  |
| b ない  | 12人 |
| c 無回答 | 7人  |

4) 術後何日目であつたら面会してもらって良いですか？

- |        |     |
|--------|-----|
| a 3日目  | 4人  |
| b ~5日目 | 10人 |
| c ~7日目 | 7人  |
| d 7日以上 | 1人  |

5) 面会者の態度で不快になったことがありますか？(複数回答を含む)

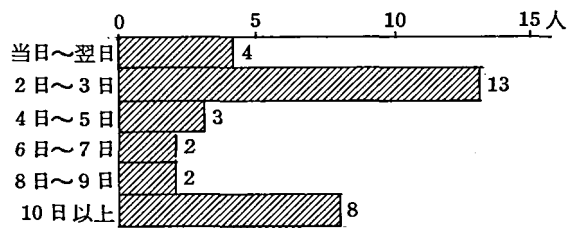
- |       |     |                         |                |          |    |
|-------|-----|-------------------------|----------------|----------|----|
| a ある  | 14人 | ┌───┐<br>├───┐<br>└───┘ | 疲れているのに帰ってくれない | 4人       |    |
| b ない  | 9人  |                         |                | 大声で話す    | 8人 |
| c 無回答 | 4人  |                         |                | 大勢で面会に来る | 8人 |

(4) 術後の面会について患者へのアンケート (総数 32人)

1) 苦しかった時の状態は？

- |              |    |        |    |
|--------------|----|--------|----|
| a 痛みが強い      | 8人 | b 痰が多い | 5人 |
| c 発熱         | 4人 | d 不眠   | 3人 |
| e ドレーンによる不快感 | 3人 |        |    |

2) 術後苦しかった期間は何日ですか？



3) 術後苦しかった時の面会についてどう思いますか？

- |           |     |   |
|-----------|-----|---|
| a 嬉しかった   | 8人  | {<br>元気になってから来てほしい 4人<br>会社の人には来ないでほしい 3人<br>静かにしてほしい 3人<br>疲れた、義理で来るのは困る、他 |
| b 嬉しくなかった | 16人 |   |

4) 術後の面会制限を希望しますか？

- |             |     |
|-------------|-----|
| a 希望する      | 18人 |
| b 大変な時は希望する | 2人  |
| c 不要        | 4人  |
| d 無回答       | 8人  |

5) その他（看護婦への要望など）

- 安静が必要な時、状態の悪い時は面会者にその旨説明してほしい。
- 長時間の面会について、注意してほしい。
- 付添いにも、オリエンテーションをしてほしい。
- 昼食時間は避けるようにしてほしい。
- 面会室での面会を促してほしい。

資料-2 [作成パンフレットA]

—入院時持参していただくもの—

- 寝まき（手術時は和服ゆかたタオル地等）着がえ晒あびの肌着（前あきのソデの広めのもの）
- 洗面用具 その他身の廻り品、顔拭く以外にタオル3枚程
- バスタオル 3枚
- 箸、スプーン、湯のみ茶わん、吸のみ
- 上履（底のすべらないもの）
- 印鑑・保険証
- 保証書（入院当日提出していただきますので必ず記載しておいて下さい）
- 受診カード
- 胸部・腹部手術の時、胸帯・腹帯・T字帯（院内売店にあります）
- 胸帯、腹帯の作り方は裏を参考にして下さい。
- 現在服用している薬（座薬も含む）あれば持参して下さい。

- 食事・寝具は必要ありません。
- 荷物は最少限度に（ロッカーに入る程度）
- 持ち物にはすべて名前をつけて下さい（タオル1本でも）
- ラジオは各ベッドに備え付けてあります。電気製品は持ち込めません。
- 面会時間は午後3時～7時まで、他の時間には面会できませんから、御家族その他の方に徹底しておいて下さい。なお、面会の際は、病棟入口にある面会簿への記入をお願いします。
- いつでも入院できる準備をしておいて下さい。入院予定日より入院がおくれることがあります。不明な点がありましたら 35-4600 第2外科外来（なるべく午後）に問い合わせ下さい。

### 資料-3 [作成パンフレットB]



#### — 面会をされる方へのお願い —

当病棟では、重症者や手術後の患者も多く、時間外や長時間の面会が問題になっています。患者さんにとって、貴方の面会がよりよいものとなるよう、御協力をお願いします。

(1) 面会簿へ記入してください。

災害などの緊急時に必要となります。

(2) 面会はなるべく短時間をお願いします。

土・日曜日は面会が多く患者さんは疲れがちです。

手術当日、手術後回復するまでは、面会をひかえるか、ごく短時間にしましょう。

(3) 乳幼児の面会はさけてください。

子供づれの面会に対して多くの苦情が出ています。また感染の危険も大きいので、病棟内へは入らないようにしましょう。

(4) 面会時間外や、面会者の人数が多い場合は、3階の患者面会室を利用していただくことがありますので御了承ください。

(5) 大きな声は、他の患者の迷惑となりますので御注意ください。

(6) 面会時間は、午後3時から午後7時までですので時間をお守りください。（日曜、祭日も同様）



御協力ありがとうございました。北4階看護婦一同

#### 資料-4 [作成パンフレットC]

##### — 面会についての対応マニュアル —

###### (1) 面会者に対する注意

- a 面会簿に記入してもらい、パンフレットを見てもらう。
- b 時間内は病室での面会を許可する。しかし面会者が3人以上あるいは子供づれで、患者の状態が安定している場合は、患者面談室の利用を促す。(術前あるいは術後で退院が近い患者)
- c 面会を希望している患者の状態が、面会により悪化あるいは苦痛を与えられる場合、家族に会ってもらおうか、ごく短時間にしてもらう。
- d 同室に手術当日あるいは状態の安定しない患者がいる場合は、説明し協力を得る。
- e 時間内であっても、食事中はなるべく避けてもらう。
- f 病室内でのお茶の接待は、やめてもらう。
- g 処置中は、説明し待ってもらう。大部屋の場合は、他の患者の処置中も同様。
- h 子供づれの面会は、原則として許可できないことを伝え、面談室を利用してもらうか、ごく短時間にしてもらう。
- i 長時間の面会は、患者本人あるいは他の患者にも負担となるため、面会は、短時間で済ませよう声かけを多くする。
- j 大きな声は他の部屋まで響き、患者が不快となるため注意する。
- k 土曜、日曜は面会が多いため、患者が疲れている場合はそのことを伝えて短時間にしてもらう。
- l 面会者が感冒をひいている場合は、面会を許可できないことを伝える。
- m 制限食を食べている患者への差し入れは断る。
- n 靴の泥は十分に払ってもらう。
- o ヒールの音は立てないようにしてもらう。

###### (2) 時間外の面会について

- a 面会時間は、15時から19時までであることを伝え、次回は時間を守ってもらうよう説明する。
- b 面会簿に記入してもらう。
- c 術前あるいは術後で状態が安定している患者の場合は、面会室の利用を促す。
- d 術後まもない患者の場合は、患者の状態を説明し、ごく短時間で済ませるように話したうえ、病室へ案内する。
- e 面会時間外に病室にいる面会者に対しては、時間外であることを伝え、短時間にするか面会室の利用を促す。
- f 19時以降に病室に残っている面会者には、面会時間が終了したことを伝える。
- g 手術直前の面会は、興奮しやすいためごく短時間で、なるべく家族だけにしてもらう。
- h 食事中は、待ってもらう。

(3) 重症者および術後の面会について

① 個室の場合（食道，肝臓，循環器疾患術後など）

- a 術後あるいはICU退室直後で状態が安定しない場合（歩行開始となるまで）は，入口に家族以外の面会を制限する旨のプレートをかける。
- b 上記の状態の場合は，家族に会ってもらふ。あるいは患者が希望する場合は，ごく短時間で面会してもらふ。

② 大部屋の場合

- a 患者の状態を説明し，短時間ですませてもらふ。あるいは，家族に会ってもらふ。
- b 患者あるいは，家族が希望する場合は，家族以外の面会を制限する旨のプレートを病室入口の名札につける。

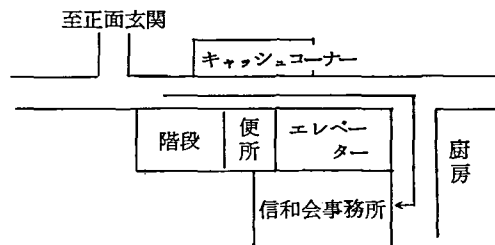
資料-5 [作成パンフレットD]

— 付添いの方へのお願い —

御家族の方に，次の事をお願いします。

付添い寝具，および食事（希望者のみ）につきましては，別にお渡しした用紙に御記入のうえ，1階の信和会事務室に申し込んでください。

お帰りの際は，付添止め用の用紙に記入し，同事務室で会計をすませてください。



手術直後は，肉体的にも精神的にもつらい時です。回復するまでの期間は，御家族以外の面会は，なるべく少なくなる様に御配慮願います。

子供づれの面会は，御遠慮ください。

面会者が大勢の場合は，3階の患者面会室を御利用ください。

病室でのお茶の接待はおやめください。

心臓病や高血圧の患者さんへの漬物の差し入れや，糖尿病の患者さんへの差し入れはしないでください。

面会制限を希望する場合は，看護婦に申し出てください。

付添いについて，わからない事がありましたら看護婦にお聞きください。



資料-6 [作成パンフレットE]

— 入院中の御案内 — (面会の項より抜粋)

面会時間は午後3時から午後9時までですので時間をお守りください。

面会に来られた方は面会簿への記入をお願いします。

子供さんの病室への出入り，湯茶の接待は御遠慮ください。

長時間の面会や大きな声は，他の患者さんの迷惑ともなりますので気をつけてください。

面会時間外や多人数の面会があった場合は，3階の患者面会室を御利用ください。